

## 第9回

# アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

## 教員研修会 報告

### ◆3年ぶりの現地開催◆

昨年、一昨年と完全オンラインで実施した本研修会ですが、事前の PCR 検査や研修期間中の健康チェック、現地で発症者が出た場合の対応など、十分な新型コロナウイルス感染対策を行った上で、2022年9月21日(水)～23日(金祝)の3日間、3年ぶりに現地(仙台市・気仙沼市)を訪問して実施しました。今年度助成校の先生25名の他、2021年度助成校の学校のうち、希望した学校の先生12名、計37名が参加しました。

先生方は、東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県階上地区の小・中学校や震災遺構を視察し、現地の子どもたちや先生方との対話や授業視察により、震災を肌で感じ、いつ起こるかかわからない災害を自分事として捉えることの大切さを実感するとともに、専門家による講義やワークショップを通して先進的な減災教育の実践を学びました。参加した先生方は、本研修会での学びを生かして自校の減災教育の改善と推進に取り組みます。



教員研修会参加の先生方と関係者

### ◆一部のプログラムをオンライン配信とのハイブリット形式で実施◆

学校を訪問する際は、コロナ禍における各学校の訪問受入れ態勢や感染対策を考慮し、できる限り少ない人数で訪問しました。参加者を、2グループに分け、一方が学校を訪問している時、もう一方は気仙沼市の別会場からオンラインで授業の様子を参観するハイブリット形式で実施しました。

### 【研修プログラム】

内容	講師／ファシリテーター
【オリエンテーション】	及川幸彦先生
【研修1】講義『東日本大震災の教訓を未来につなぐ～大災害で生きた教育の力』	及川幸彦先生
【研修2】講義『持続可能な社会の創り手を育てる減災教育～ESD/SDGsの視点からの減災教育の方向性とカリキュラムマネジメント～』	及川幸彦先生
【研修3】視察『被災地区の証言から学ぶ』(杉ノ下慰霊碑視察)	語り部ガイドによる案内
【研修4】視察『震災遺構(被災校舎・気仙沼向洋高校旧校舎)』(気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館) 中学生語り部による館内視察とトークセッション(参加者と伝承館館長、職員、中学生語り部)	階上中3年生(館内語り部ガイド) 上田和孝先生(トークセッションファシリテーター)
【研修5】授業視察『小学校における防災・減災教育の実践』(気仙沼市立階上小学) 階上中3年生講師による防災教室、階上小児童による防災マップの発表、階上小の防災教育の取組について、など	階上小校長、安全担当主幹、防災担当教諭、児童、及川幸彦先生(ファシリテーター)、 嵩倉美帆氏(ファシリテーター)
【研修6】授業視察『中学校における防災・減災教育の実践』(気仙沼市立階上中学校) 3年生の実践発表、生徒と参加者のディスカッション、備蓄倉庫見学	階上中校長、防災主任、3学年担任教諭、生徒、及川幸彦先生(ファシリテーター)
【研修7】講義『多賀城高校の防災・減災・伝承学習』(宮城県多賀城高等学校)	校長 小野敬弘先生
【研修8】講話『復興における気仙沼市教育の取組』	気仙沼市教育委員会 教育長 小山淳氏
【研修9】講義『防災・減災教育におけるN助の必要性～地域や外部とのネットワーク』	上田和孝先生
【研修10】ワークショップ『研修成果の共有と今後の展望～3日間の研修のまとめと共有～』	上田和孝先生(ファシリテーター) 嵩倉美帆氏(ファシリテーター)
【総括】3日間の総括	及川幸彦先生

【1日目】(9月21日)



本プログラムコーディネーター/講師の及川幸彦先生（奈良教育大学）による「本研修の趣旨」、「東日本大震災の教訓を未来につなぐ」、「持続可能な社会の創り手を育てる減災教育～ESD/SDGs の視点からの減災教育の方向性とカリキュラムマネジメント」についての講義



東日本大震災で多くの犠牲者を出した杉ノ下地区の慰霊碑を訪問。献花、黙とうの後、語り部ガイドの案内により視察



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を訪問。語り部活動を行っている階上中学生の案内により館内を視察



館内視察後、参加者と伝承館館長、職員、語り部中学生とのトークセッションの様子。活発な意見交換が行われた

【2日目】(9月22日)

◆階上小学校授業視察◆



階上中3年生講師による、防災教室の授業



地域の自治会長や階上中学生などを招いて行われた、階上小児童による防災マップ作成の発表

◆階上中学校授業視察◆



別会場よりオンラインで参加している参加者



生徒による減災教育の取り組みの実践発表



参加者と階上中学生とのディスカッション



東日本で唯一災害科学科を設置している多賀城高校校長小野敬弘先生の講義



**【3日目】(9月23日)**



気仙沼市教育委員会教育長小山淳氏による講話



上田和孝先生（新潟大学）による、学校と地域の連携における NPO/NGO の役割や、ネットワークの構築についての講義



研修の総括として行われたグループワークと全体発表

## 【参加者の声】

- 被災地の方々の話を直接聞いたり、遺構を視察することにより震災を肌で感じることができた。合わせて質の高い研修を受けたことで、自校の取り組み改善の見通しを持つことができた。
- 防災・減災教育に関して、多面的・多角的に指導内容を知ることができた。また、他県の課題や解決方法を学ぶことができた。
- 研修会に参加して防災・減災に対する考え方が整理され、何を目的に何を学ばよいか見えてきた。
- 全国の先生との出会い、つながりができたことがよかった。せっかく出来たつながりを今後の取り組みにいかしたい。
- 自身の防災に関する知識と意識の向上につながった。
- オンラインではなく、対面で足を運んで見る、学ぶ意義は大きい。実際に学校を訪問して生徒の姿を直に見て、防災の次元を超えて、教育の原点、本来あるべき姿を肌で感じることができた。
- 及川先生、上田先生、多賀城高校の校長先生や気仙沼市教育委員会教育長の話はわかりやすく、自身の学びを深め、今後の取組の改善の手掛かりとなった。

## 2022年度 第9回「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」教員研修会参加校一覧

### 【2022年度助成校】(25校)

	校種		学校名
1	小	北海道	函館市立えさん小学校
2	高	北海道	北海道静内高等学校
3	小	岩手	釜石市立双葉小学校
4	中	岩手	石巻市立桃生中学校
5	中	宮城	気仙沼市立条南中学校
6	高	宮城	宮城県気仙沼向洋高等学校
7	高	宮城	宮城県多賀城高等学校
8	高	山形	酒田南高等学校
9	中	福島	只見町立只見中学校
10	中	福島	猪苗代町立猪苗代中学校
11	高	福島	福島県立白河高等学校
12	中	茨城	取手市立戸頭中学校
13	小	東京	北区立なでしこ小学校
14	中	新潟	魚沼市立広神中学校
15	中	新潟	新潟市立内野中学校
16	高	長野	長野県松本深志高等学校
17	小	静岡	浜松市立砂丘小学校
18	中	静岡	静岡市立清水飯田中学校
19	高	大阪	関西学院千里国際高等部
20	中	奈良	奈良教育大学附属中学校
21	中	岡山	岡山市立操南中学校
22	高	愛媛	愛媛県立松山工業高等学校
23	中	福岡	福岡市立春吉中学校
24	中	福岡	大牟田市立宮原中学校
25	小中	沖縄	竹富町立西表小中学校

### 【2021年度助成校】(12校)

	校種		学校名
1	中	北海道	根室市立光洋中学校
2	高	山形	山形県立加茂水産高等学校
3	小	埼玉	新座市立石神小学校
4	中	東京	板橋区立板橋第三中学校
5	小中	東京	町田市立武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園)
6	中高	東京	帝京中学・高等学校
7	小中	岐阜	羽島市立桑原学園
8	高	大阪	大阪府立緑風冠高等学校
9	特支	兵庫	兵庫県立和田山特別支援学校
10	小	福岡	古賀市立花見小学校
11	中	福岡	大牟田市立宅峰中学校
12	小	沖縄	竹富町立古見小学校

【主催】公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

【共催】気仙沼市教育委員会

【協力】アクサ生命保険株式会社、奈良教育大学 ESD・SDGs センター

【後援】文部科学省

【コーディネーター・講師】及川 幸彦先生（奈良教育大学 准教授）

【講師・ファシリテーター】上田 和孝先生（新潟大学工学部附属工学力教育センター 准教授、認定特定非営利活動法人 SEEDs Asia アドバイザー）

【ファシリテーター】高倉 美帆氏（公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所 海洋事業企画部 海洋教育チーム 研究員）

【研修協力】気仙沼市教育委員会、認定特定非営利活動法人 SEEDs Asia、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館  
気仙沼市立階上小学校、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校